

第 1 1 回

北区リレーションシップ協議会会議録

令和 3 年 11 月 22 日

第11回 北区リレーションシップ協議会

開催日時 令和3年11月22日(月) 開会 午後7時00分～ 閉会 午後8時37分

出席委員(13人)

座長 東洋大学ライフデザイン学部健康スポーツ学科 齊藤 恭平

副座長 北区町会自治会連合会 大貫 新一

委員 日本スポーツ振興センター ハイパフォーマンスセンター運営部 永井 勉

委員 東京都北区体育協会 根本 貞義

委員 北区商店街連合会 尾花 秀雄

委員 東京商工会議所北支部 越野 充博

委員 公益財団法人 北区文化振興財団 石山 泰史

委員 北区小学校PTA連合会 岡本 好史

委員 北区青少年地区委員会会長会 鈴木 将雄

委員 北区青少年委員会 恒松 晃

委員 北区政策経営部 中嶋 稔

委員 北区教育委員会事務局教育振興部 小野村 弘幸

委員 北区地域振興部 藤野 浩史

欠席委員（11人）

- 委員 北区スポーツ大使 高橋 勇市
- 委員 北区スポーツ大使 上田 春佳
- 委員 北区スポーツ大使 石野 枝里子
- 委員 東京都障害者総合スポーツセンター 高山 浩久
- 委員 特定非営利活動法人 れっど★しゃっふる 吉村 実花子
- 委員 コミスポたきのがわ 大竹 秀樹
- 委員 北区スポーツ推進委員協議会 葛西 大
- 委員 東京北区観光協会 大前 孝太郎
- 委員 北区立小学校体育会 清水 勝一
- 委員 北区立中学校体育会 綿貫 正人
- 委員 北区立中学校PTA連合会 富岡 昇平

オブザーバー、ゲストスピーカー（6人）

- 東京ヴェルディ 常田 幸良
- 新井 隆法
- 東京都北区観光協会 大澤 亮介
- 博報堂プロダクツ 明石 康宏
- 法政大学スポーツ健康学部スポーツ健康学科 専任講師 ネメシュ・ローランド
- 北区地域振興部スポーツ推進課長 戸澤 俊人

次 第

1 開会

2 座長あいさつ

3 報告事項

(1) 東京 2020 大会の報告について (速報) (資料 1)

(2) ハンガリー事前キャンプの実施報告について (資料 2)

(3) 東京 2020 大会関連事業の報告及び今後の展開について (資料 3)

4 協議事項

(1) 東京 2020 大会後の北区リレーションシップ協議会の位置づけ (資料 4)

5 各団体・機関からの報告

6 今後のスケジュール

7 閉会

午後 7 時 0 0 分開会

第 11 回北区リレーシヨンシップ協議会

令和 3 年 1 月 2 2 日

【座長】

それでは定刻になりましたので、ただいまから第 11 回北区リレーシヨンシップ協議会を開催したいというふうに思います。本日はご出席、足元が悪い中におきましてありがとうございます。

私座長を務めます東洋大の齊藤と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

会議に先立ちまして、議事録を作成いたします。ご発言の際には、マイクをお回しいたしますので、マイクを使ってご発言ください。また、議事録の作成のために、会議の風景写真を撮影させていただきます。なお、この会議は公開での開催となりますので、傍聴希望される方が会場に入るとともに、議事録を北区のホームページにて公開いたしますので、あらかじめご了解いただければというふうに存じます。よろしくお願いいたします。

それでは本日の資料について事務局から確認をさせていただきます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

はい。事務局の東京オリンピック・パラリンピック担当課の大熊と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

資料の確認をさせていただきます。基本的に席上に置かせていただいております。まず式次第がございます。そのあと構成員名簿、席次表がございます。そのあと、事務局から配付している資料、資料 1 から 5 までご用意しております。基本的に両面印刷で印刷させていただきますので、お願いします。資料 1 が、「東京 2020 大会の報告について（速報）」の 9 ページになります。資料 2 が「ハンガリー事前キャンプの実施報告について」の 6 ページになります。資料 3 が「東京 2020 大会関連事業の報告及び今後の展開について」が 5 ページになります。資料 4 が「東京 2020 大会後の北区リレーシヨンシップ協議

会の位置付けについて」の1ページになります。資料5は、「北区スポーツコンダクター制度」のチラシ1枚になっております。その他、12月5日の日曜日に、北区ゆかりのアスリーの陸上競技、澤田優蘭選手をお招きして開催する北区スポーツボランティア養成講座のチラシ。同じく北区ゆかりアスリーの車いすラグビーの小川仁士選手が、12月11日土曜日に参加する、東京都主催の「BEYOND STADIUM 2021」のイベントチラシを配付しております。また、東京ヴェルディ様より、今年度から始まった、女子プロサッカーリーグWEリーグで活躍している日テレ・東京ヴェルディベレーザ選手のご紹介のチラシをいただいております。あとクリアファイルのほうお渡ししております。中はボトルホルダー、ふせん、オリパラピンバッジが入っておりますので、よろしければ、お持ち帰りください。

以上、席上に配付しております資料ですが、ない方いらっしゃいますか。よろしいですか。

それでは終わりましたので座長にお返しします。よろしくお願ひします。

【座長】

ありがとうございます。それでは次第に従って進めて参りますが、まずは、ご挨拶をさせていただきます。いやこの会議も本当に1年以上ぶりということで皆さん、コロナ禍の中いかがお過ごしでしたでしょうか。私どもの大学、昨年はいち完全リモート、非対面授業ということで、今年度の4月からは、今どきですけどハイブリットということで、隔週対面と非対面で、そういう形でやりましたが、ご存知の通り緊急事態宣言が出まして、そこからは完全非対面、リモート、ということで。まあただ、おかげさまで11月からは、またハイブリットということで対面ということになっております。

その中でもですね、オリンピック・パラリンピックの開催ということで、なかなかこの会の趣旨は、もともとはオリンピックの機運醸成というところが、最大の目的であったわけですがけれども。世論的に考えるとなかなか、気運醸成をできないような部分があったのも事実でして、ただ、その中でもですね、比較的、事務局等が頑張っていたいてですね、ハンガリーの事前キャンプ中心にですね、何とか事業を成し遂げることができたのかなというふうに感じております。

これもひとえにこのリレーションシップに参加の皆様のお力添えのおかげかなというふうに感じてございます。今日の会は、本来だったらこのリレーションシップのいわゆる締め会の会という形になろうかと思ひます。本当であれば、成功でよかったねということで、

そういった気持ちを共有したところでございますけれども、なかなか不完全燃焼に終わったというような感じではございますが、ただ、こういったせつかくの関係ですので、ここで終わらずにですね、何かの形でこれが繋がっていければなというふうにも、一部考えてみたりしております。

あまり長々とだと、前に進みませんので次にですね、年度が変わったということで、新たに委員になられた方も何名かいらっしゃいます。今日欠席の方も多くいらっしゃいますが、いらっしゃる委員の方たちにですね、改めて自己紹介、ご挨拶をいただければなというふうに思います。

まずは、私の右隣にいらっしゃいます、新しく副座長を務めていただいております、北区町会自治会連合会の大貫委員様からご挨拶をお願いいたします。

【副座長】

皆さん改めましてこんばんは。このたび、北区町会自治会連合会の会長を仰せつかりました大貫でございます。まだまだ経験未熟ではございますが、地域の活動経験とともに、皆様のご支持をいただきながら頑張っていきたいと思っておりますので、よろしくをお願いいたします。

【座長】

あとは、順番にマイクをお回しいたしますので、マイクが参りましたら、ご挨拶をお願いいたします。

【永井委員】

日本スポーツ振興センターのハイパフォーマンススポーツセンターの運営部から参りました、永井と言います。ナショナルトレーニングセンター、国立スポーツ科学センターの運営をさせていただいております。よろしくをお願いいたします。

【根本委員】

こんばんは。北区体育協会の専務理事の根本でございます。先ほど座長さんがおっしゃった通り、コロナの中で、私どもスポーツ関係、大分制約された中でどうにかやってきたのかなと思います。これからもよろしく申し上げます。

【中嶋委員】

こんばんは。北区の政策経営部長の中嶋と申します。今北区庁内では令和4年度に向けての予算編成作業等々をしてございます。こういった場でいただいたご意見等少しでも反映できればというふうに思っておりますので、よろしく申し上げます。

【小野村委員】

みなさんこんばんは。教育振興部長をしています小野村と申します。私の方は教育委員会の方で、学校それから青少年等を所管しております。子どもたちの活動もかなり制限されたところがありますが、ようやくコロナが落ちつきまして、学校も落ち着き取り戻して通常通りの活動に近くなってきております。どうぞよろしくお願ひいたします。

【藤野委員】

皆さんこんばんは。この4月から、北区の地域振興部長を務めております藤野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。私はこのオリパラ担当もそうですけれども、スポーツ推進等も所管をしてございます。スポーツというと、今年度は、東京2020大会が最大の事業であったわけでございますけれども、北区としてもその関連事業、そして、ハンガリーの事前キャンプ等、無事終了することができました。委員の皆様におかれましてはいろいろとご協力いただきましてありがとうございました。

また、今後は、レガシーの創出といったことに視点がうつっていくことになるかと思っておりますけれども、引き続き、様々な形で次の事業展開等も考えていきたいというふうに思っておりますので、引き続き皆様のご理解、ご協力をお願いできればと考えております。よろしくお願ひいたします。

【戸澤スポーツ推進課長】

皆さんこんばんは。初めての参加になるかと思います。私、先ほど部長から紹介ございました、スポーツ推進課長戸澤と申します。オリパラ終了後、レガシーということを含めて、いろいろスポーツ関連の推進をして参る所感でございます。これを機会にぜひ、この会議ということで、今日急遽、ちょっと勉強のつもりで参加しておりました。今後色々縁があるかと思しますので、どうぞひとつよろしく申し上げます。以上でございます。

【恒松委員】

皆さんこんばんは。北区青少年委員会の会長を務めております恒松と申します。児童生徒がですね、健全育成を担うということで、そういうような事業を行っている団体でございます。コロナの影響でですね、なかなか活動できなかつたんですが、やっとここへ来てですね、いろんな研修会・行事というものでできるなど。私自身この会議に参加するのが始めてなもんですから、どんな形で協力できるかはわかりませんが、どうぞよろしく願いいたします。

【鈴木委員】

北区青少年地区委員会会長会、19人を代表して参加しております。青少年地区委員会会長の鈴木と申します。今、青少年委員会会長さんお話の通り、なかなか事業が青少年も思うように行かないんですけど、頑張っって、これからもいろいろ事業を進めていきたいと思っってます。よろしく申し上げます。

【岡本委員】

北区のですね、小学校PTA連合会の岡本と申します。よろしく申し上げます。聖火リレーでですね、みんな小学校PTAのお母さんたち、公道走行、ボランティアで参加するぞ、なんて頑張ってたんですが、残念ながら不完全燃焼といった感じでありましたけども、今後もですね、子どもたちのために活動できればなと思しますので、よろしく願いいたします。

【石山委員】

皆様こんばんは。北区文化振興財団事務局長の石山でございます。スポーツと一緒に文化から、オリパラを盛り上げる予定ではあったんですが、生憎のコロナ禍ということで、どうぞよろしくをお願いします。

【越野委員】

東京商工会議所北支部会長を務めております、越野と申します。率直に言って、東京オリンピック・パラリンピック、開催できたこと本当によかったなあ。無観客ではありましたが非常に大きなレガシーになったと。前オリンピックから56年も経つ。だから、年寄りのノスタルジーみたいに言われちゃうんですけど、12年とか16年後ぐらい、もう1回やれたらいいな、というふうには個人的には思っております。まあ、そこまで、我々はいられるかどうかわかりませんが、今の若い人たちに、思いを持って、そこに引き継ぐレガシーっていうのを、これから皆さんで考えていきたいと思っております。

【尾花委員】

こんばんは。北区商店街連合会の尾花と申します。商店街連合会としては、オリンピックのフラッグを各商店街に、掲揚させていただいて、協力させていただきました。2回にわたり掲揚させていただきましたが、皆さん見ていただけたでしょうか。ちょっと、オリンピックのフラッグかなっていうような、何かもう少しこう、はっきりしたデザインのフラッグだったらよかったかなと思いますけれども、新しいデザインで、これでよかったかなっていう部分もありますので、協力をさせていただきました。

【座長】

ありがとうございます。これで全員周りましたね。

それでは次ですが、中身に入る前に、実は本日ですね、北区をホームタウンにしています、東京ヴェルディさんがいらっしゃってございまして、聞くところによると、昨年度ですね、北区と東京ヴェルディはスポーツ推進及び連携に関する協定を結ばれたということだそうです。

ここで東京ヴェルディの方からですね、選手の方であるとか活動内容をご紹介いただければというふうに思います。よろしくお願いします。

【東京ヴェルディ常田様】

皆さんこんばんは。今、ご紹介いただきました東京ヴェルディでございます。私、ホームタウンの責任者をやっております常田と申します。どうぞよろしくお願いします。それから今日はですね、東京ヴェルディの企画担当の新井も一緒に参りました。

【東京ヴェルディ新井様】

どうぞよろしくお願いいたします。

—パワーポイントをもとに説明—

【東京ヴェルディ常田様】

本日はですね、皆様の大切な会議の冒頭にお時間をいただきまして、まことにありがとうございます。

今、座長の方からご説明がありました通り、昨年7月に、私どもと北区と、スポーツを通じた連携協定を締結させていただきました。スポーツを通じまして、まちづくり、地域の活性化、こういったものをですね、積極的にやっていこうという目的のための連携協定でございます。

今日これからですね、簡単ではございますが、私どもが運営しております日テレベレーザという女子チーム。それから私どもが参加参入をしているWEリーグという、女子のプロサッカーリーグ。それから、最近のですね、北区さんとの取り組み。この三つにつきまして、簡単ではございますが、ご説明をさせていただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いします。

すいませんちょっとモニターでご説明をさせていただきますが、はい。3ページ目です。日テレ・東京ヴェルディベレーザといいます。私どもが運営している女子のサッカーチームでございます。創部はですね1981年となります。今年でちょうど40周年を迎えております。主な成績で言いますと、リーグ戦を優勝17回、カップ戦を優勝10回、皇后杯優勝

15回、それからアジアのチャンピオンに1度輝いております。この中の皇后杯につきまして、現在は4連覇しております、今年、来月から始まるまた新たな皇后杯、5連覇をかけて、これからチーム一丸となって戦っていくという形になっております。

それから現在私どもが参加・参入しているWEリーグというリーグでございます。今年の9月、新しく開幕しまして。日本初の女子のプロサッカーリーグとして、開幕しました。男子のJリーグに対しまして、女子はWEリーグという名前でリーグ戦を戦っております。WEというのはですね、ウーマンエンパワーメントの略称でございます。エンパワーメント、女子の力、女子の影響を持ってですね、女性が活躍をする社会を作っていこうという思いが込められております。現在リーグに参加しているチーム、11チームございます。その11チームの中で、関東、東京はですね、私どもの日テレベレーザの1チームが参加をしております、北区それから板橋区、この二つの地域をホームタウンとして、北区のですね、西が丘にあります味の素フィールド西が丘、ここをホームグラウンドとして戦っております。これちょっと見にくいんですが、今ちょうどリーグが始まっております、9月に開幕して、現時点で5位ということで、4勝2分けの3敗で勝ち点14の5位ということで、後半に向けて、首位を今追いかけていくという形になっております。前半後半とありまして、この12月に前半戦が一旦終了するんですが、間3ヶ月をあけて、今度は3月の5日6日、こちらから後半戦、10試合が開催する予定となっております。

続きまして、北区との取り組みでございます。先ほど申し上げました通り、昨年7月にですね、東京都北区様とスポーツの推進及び連携に関する協定を締結させていただきました。両者が互いに協力し合って、区民のスポーツ関心を深めてですね、スポーツを通じたより豊かなスポーツ文化の振興ということに寄与していこうという形で連携協定を締結させていただきました。こちらがですね、今、北区さんと取り組んでいる企画でございますが、私ども味の素フィールド西が丘で、毎試合ホームゲームをしております。この試合においてですね、年に1回ないしは2回、区民の方をご招待してですね、或いはご優待企画を実施して、多くの皆様にですね、女子のプロサッカーのプレーを堪能していただくよう、今の招待・優待企画というものを進めております。それをですね、北区ホームタウンデーという形でタイトルをつけまして、実施をしております。

それから二つ目でございますが、こちら北区さんの取り組みです。毎年2月にですね、北区さんから受託をさせていただいております、トップアスリート直伝サッカー教室、それから、ユニバーサルスポーツ体験会、こちら北区様から私どもが企画をさせていただ

ている企画事業でございます。直伝サッカー教室の方は、区民の子どもたちを集めて、選手を交えてですね、一緒に1日楽しくサッカーをやって、そういったような企画でございます。それから北区のユニバーサルスポーツ体験会、こちらも定期的にやっているんですが、主に赤羽体育館で実施をしております。この内容はですね、障害のある方も、或いは健常者の方も一緒にですね、楽しんでスポーツができるプログラムを私どもの方が提供させていただいて、北区様と一緒に取り組んでいる事業でございます。それから資料下の二つですね、左側、ようやく私ども区内で独自のサッカースクールを開講することができました。左側の下の写真はですね、王子駅前、JRの王子駅前に、サンスクエアという商業施設がございますが、そちらの屋上で、週に3日、区内の子どもたちを集めてですね、サッカー教室、スクールを開講しております。それから右の下ですね、これはつい先日ですが11月の13日、赤羽スポーツの森公園競技場で、選手とそれから地元の中高生のサッカー選手と交流会を開催いたしました。このような形でですね、北区様との取り組みをどんどん強化している、今最中でございます。11月13日につきましては、赤羽スポーツの森公園競技場で選手の交流会をやったんですけども、その後ですね、十条銀座商店街の方にもお邪魔しましてですね、その商店街さんへ試合告知の協力をお願いであったりとか、或いは応援のお願いですとか、地域の皆様との交流もさせていただいております。

今後も我々ですね、地域の皆様の、精神的な文化価値、或いは経済効果を伴うですね、観光資源、こういったようなチームになれるように、チーム一丸となって頑張っ参りたいと思いますので、どうぞ引き続きご支援、ご鞭撻のほどをいただきたいというふうに思っています、今日のご挨拶にお伺いさせていただいた次第です。今後とも、どうぞよろしくお願いたします。以上でございます。

【座長】

ありがとうございます。質問があれば何か、どうでしょうか。優待券はどうやったらもらえるのかとか、そういう。よろしいですか。はい、どうもありがとうございました。

【東京ヴェルディ常田様】

すいません。ちょっとこちらご説明なかったんですけども、町会自治会さんの方にもですね、掲示板にも、告知のポスターを貼らせていただいたりとか、そういったPR面でも大変助かっております。本当にありがとうございます。以上です。

【座長】

どうもありがとうございました。どんどん強くなって、活躍を期待したいと思います。

ではですね、次は、今回の東京オリンピックのですね、テコンドーで活躍された山田選手が所属されています、城北信用金庫様もいらしております。一言ご挨拶をいただければなというふうに思います。よろしくどうぞ。

【東京都北区観光協会大澤様】

お時間いただきまして誠にありがとうございます。私東京北区観光協会の大澤と申します。本日委員の大前が欠席ということで、私オブザーバー席で座らせていただいているんですけども、私もともと城北信用金庫の所属職員でありまして、観光協会に出向しております。それで、同じ部なんですけども、オリンピックにですね、当金庫の山田美諭が、テコンドーの、残念ながらちょっと、メダルには届かずに5位という結果になってしまったんですけども、いろいろやり切った中で、結果を残すことができました。その結果は地域の皆様や、北区の皆様、区役所の皆様、あと体育協会の皆様、いろいろ本当にご協力いただいて、本人も戦えたと思います。

普段山田は金融機関の業務を勤めています。私が所属もとに電話すると、お電話ありがとうございますと、オリンピックの山田が電話をとる、という。ちょっと不思議な感覚だったり、ちょっと何か自分がふざけすぎてしまうと、蹴られそうになったりとか、いろいろ怖い部分もあるんですけども、おかげさまでオリンピックに出場することができました。また体育協会様に、令和3年度の北区体育協会スポーツ賞を受賞させていただいたり、北区役所の皆さんにも花川区長へのご挨拶をさせていただいたり、本当にありがとうございました。

ほかにもアスリート職員がいるので、また地域貢献だったり、地域の皆様に少しでも勇気づけられたら、城北信用金庫の金融機関以外の機能を果たしていければなと思います。本日はお時間ちょうだいしましてありがとうございました。引き続きよろしく願いいたします。

【座長】

ありがとうございました。

それでは、中身の方に入って参りますが、本日報告事項3点と協議事項1点でございます。まずは報告事項の方からですが、(1)番の東京2020大会の報告についてということで、速報でございます。こちらのほう事務局の方、お願いいたします。

【事務局】

皆さんこんばんは。事務局をしております東京オリンピック・パラリンピック担当課長の上里と申します。本日はよろしくをお願いいたします。冒頭、皆様方からご挨拶いただいた通りですね、東京2020大会、コロナ禍でなんとか開催と。北区としましても、ハンガリーの事前キャンプを含めて、リレーションの皆様方、コロナ前からご協力いただくとともにですね、聖火リレーにつきましても、ボランティアというところで、ちょっと従事いただくことはかないませんでしたけれども、様々ご協力いただきまして、今後、レガシーをどう地域へ還元していくかということなのかなと思ってございますので、また引き続きよろしく申し上げます。

それではまず資料1をご覧ください。こちら、東京2020大会の報告について速報でございます。こちらの資料につきましては、東京都がまとめて公表している資料を、そのまま配付させていただいております。簡単に、かいつまんでご案内させていただきます。まず1ページ目でございますけれども、東京2020大会の概要ということで記載がございます。ご存知の通り、オリンピックにおきましては過去最高のメダルを日本選手団が獲得、そしてパラリンピックにおきましては前回大会の倍以上のメダルを獲得ということで、大活躍をされたところでございます。また北区ゆかりのアスリートも含めまして日本選手団の活躍の陰にはですね、本日ご出席いただいております、日本スポーツ振興センターさんで運営されている、味の素ナショナルトレーニングセンター含めた、ハイパフォーマンススポーツセンターがあります。日本選手の多くは選手村に入村せずに、直前まで西が丘で調整をして、まさに西が丘を拠点に、戦いに挑んで好成績を残したと思ってございます。また、一方でコロナ対策をしっかりやっていただいたというところで、区民の方にも安心して、大会期間中過ごしていただいたのかなと。本来であれば、西が丘を拠点に、大会に臨むということで、各選手団が出発する際には、地域の方々含めて壮行会のような形で、本来であれば取り組みたかったところでございますが、こちらがコロナ禍でかなわずという

ところで、東京大会ならではの、北区ならではの取り組みというのが一つできなかったことが、残念かなと感じているところでございます。

またですね、資料にちょっとお戻りいただきまして、パラリンピックの観客、無観客でございました。ただ学校連携観戦ということで、都内では1万543名の幼児児童生徒が観戦をしたというところでございます。北区におきましては残念ながら観戦はかなわなかったというところでございますけれども、区立小、市町村立学校、公立の学校につきましては4自治体、新宿・渋谷・杉並・八王子市が実施したというところでございます。続きまして、ページ飛びまして7ページをご覧ください。7ページの中ほどでございます。事前キャンプということでございますが、北区におきましては、ハンガリーの柔道・フェンシングの事前キャンプを受け入れたというところでございますが、オリンピックにつきましては杉並区、大田区、新宿区、北区の4区が受け入れをしたと。パラリンピックにつきましては品川区、江戸川区、練馬区の3区が受け入れたというものでございます。またそれ以外に、事前キャンプではないんですけども、入村後練習会場として貸し出した区は多数だったというものでございますが、それらも含めまして都内での新型コロナウイルス感染症の感染者はゼロということでございます。一部報道で、選手が入村する前に、宿泊予定のホテルの従業員が感染、陽性だったことが判明したということありましたけれども、実施期間中の感染者は関係者含めてゼロというものでございました。

北区における事前キャンプにつきましては、後程資料2で、ご報告をさせていただきます。また資料1につきましては、後程ですね、その他もろもろご確認、ご高覧いただければと思いますので、この場での説明は割愛させていただきます。資料1につきましては、以上でございます。

【座長】

はい、ありがとうございます。皆様の方から何か質問、ご意見等ございますでしょうか。よろしいですか。

では次の報告に移りたいと思います。(2)番になりますが、ハンガリー事前キャンプの実施報告についてという、こちらを事務局からお願いいたします。

【事務局】

それでは続きまして資料2をお手元にご用意ください。ハンガリー事前キャンプの実施報告についてでございます。こちら東京2020オリンピック競技大会時に実施しました、ハンガリー柔道及びフェンシングの事前キャンプに関するご報告となります。まず資料、ご報告をさせていただく前に、簡単にこれまでの取り組みをスライドで振りかえたいと思いますので、前方をご覧ください。

—スライド写真をスクリーンに映しながら説明—





北区ハンガリー応援団員からハンガリーへのクリスマスメッセージ

<p>Seasons Greetings, Wishing you and your family a Happy and a Healthy New Year! Will be looking forward to seeing you next year in Tokyo.</p> <p>Sincerely, Akiko</p>		<p>There are things in Japan that are not in Hungary. One of them is the sea. When you visit Japan during the Olympics, please enjoy the sea as well!</p> <p>AYA</p>	
<p>Boldog Kar a csontj és boldog új évet! We are all waiting for you to come to Japan. Of course, wishing your success to do your best of your performance in Olympic Games!</p> <p>Best wishes, Chihro & Mizuki JONO</p>		 <p>Merry Xmas! I believe that sport has the power to change the world and the future. I wish you the best next year.</p> <p>Suzuzy</p>	
<p>Merry Xmas! Wishing you joy, peace and good health this Holiday Season and hope the coming year will be your most successful year.</p> <p>Naoko Nakul</p>		<p>Boldog Kar a csontj. I hope you are doing well during this difficult time. I am looking forward for the day to seeing your match! I'm wishing for your good luck.</p> <p>Pentagon</p>	



まずですね、平成30年に、事前キャンプ実施に係る覚書を、ハンガリー柔道協会及びフエンシング連盟と締結をしたところでございます。こちらスライドは、調印式の柔道協会のトート会長と花川区長の写真でございます。

こちらはですね、令和元年度になりますけれども、東京大会で銅メダルを獲得されました柔道男子トート選手、こちら今トート選手で、そのスライド1個前がですね、柔道協会のトート会長。トート会長も参加されてですね、柔道教室を実施したところでございますが、コロナ前ということなので、別世界のような。こちらカラカシュ選手といいましてオリンピックに、今回3回連続で出場された、まさにハンガリーのスポーツ界の顔ともいうべき方ですけれども、本当に、世界のトップアスリートと子どもたちが、コロナ前ですけれども、直接触れ合って交流をしていたと。

こちら子どもたち、区民の方に、国旗にメッセージを書かせていただいて、これを応援メッセージということで、国旗を贈呈させていただいたシーンでございます。

次がですね、ハンガリーフェアでございます。まさにこちら、リレーションシップ協議会の皆様方にご協力いただいて、約1200人に来場いただいた、滝野川公園及び体育館で実施したものでございます。こちらは開会式の様子で、こちらコミスポタきのがわさんですね、ご協力いただきまして、ハンガリーの選手にですね、書道体験をしていただき、日本文化を感じていただいたところでございます。こちらは北区立中央図書館の所蔵しているハンガリー関係の絵本を集めて、子どもたちに絵本の読み聞かせをしている場面でございます。こちらハンガリーの写真展ということで、友好協会ですね、ご協力、ご紹介いただいて、ハンガリーの景色、ドナウ川を含めた景色を、ご来場いただいた方にご案内させていただいたシーンでございます。また、こちらが一番盛り上がっていたかなというところで、公園のところにですね、出店いただきまして、主に商工会議所さんにご協力いただきまして、結構早いうちにハンガリー料理の売り切れもあったということで、これも本当に別世界のような状況でございますけれども、本当にリレーションシップの皆様方にご協力いただいたイベントとなっております。

こちらがですね、区立小中学校にハンガリー料理を給食で提供してもらいましょうということで、教育委員会、区内小中学校にご協力いただいて実施しました。その中で、こちらは堀船小ですかね、先ほどご案内させていただいた柔道のカラカシュ選手、オリンピックに出場された選手とコーチですね、学校に訪問して一緒に給食を食べたというシーンで

ございます。黒板には、ちょっと見えにくいんですけども、子どもたちが歓迎の言葉をいっぱい書いていただいたというシーンでございます。

こちらがですね、いよいよということで、さあ、オリンピックというときにコロナになってしましまして、コロナ禍で、1年延期になった中で、何ができるかということで、北区におきましては、令和元年度末の3月に北区ハンガリー応援団を結成しまして、最終的には140名強の、区民の方に登録いただきましたけども、皆様方からですね、メッセージを集めさせていただいて、これを集約させていただいて、選手へクリスマスメッセージをお送りしたというものでございます。

次は、コロナ禍ということで、オンラインでの交流を実施したものでございます。こちらは北区ハンガリーフェンシングオンライン交流会。ちょうど画面に写っている選手が、今回銀メダルを獲得されたシクロ選手でございます。子どもたちが日本文化を少し披露したり、質問コーナーをしたりということでオンラインですけども、交流を実施いたしました。

こちらは同じくオンライン交流ですけども、柔道交流会でございます。画面写ってございますのは、先ほど学校で給食も一緒に食べていただいたカラカシュ選手がハンガリーから中継をつないで、時差8時間ございますけれども、多分、ハンガリーですと朝早い時間だったのかなと思いますけども、子どもたちは夕方というところで、オンライン交流会を実施したところでございます。

以上のようにですね、様々、特にコロナ前におきましてはリレーシヨンの皆様方、今回スライドちょっとご紹介できなかった団体さんもございますけれども、皆様方にご協力いただきながら、かつ、北区ならではのところで、大使館の方もそうなんですけども、本当にオリンピックに出場した、またはされるアスリートの方々と子どもたち、区民の方と触れ合っていたくというものを実施してきたところでございます。

それで、先ほどの給食につきましては、第2回目ということで令和2年度も実施をさせていただきまして、初回30校、2回目につきまして31校の学校にご協力いただいたというところで少しずつハンガリーを、区民の皆さんに見ていただいたのかなという取り組みをしたところでございます。

以上のような形で、コロナ禍で延期の1年間、北区リレーシヨシップ協議会の皆様方のご協力のもとですね、ハンガリーとの交流を続けることができ、また、一方でこの1年間というものを有意義な時間ととらえて、少しでも応援機運が高まったのかなというこ

ろで、資料2のご報告をさせていただきますので、お手元に資料2をご用意ください。資料2、ハンガリー事前キャンプの実施報告についてでございます。今回、ハンガリー事前キャンプの報告、まず行政から資料に基づいて説明させていただいた後に、後ほどハンガリーのコンサルティング業務、また、選手が日本に滞在する時はアテンド役としてですね、選手の側に寄り添っていただいた博報堂プロダクツの明石様に後程、選手側の視点からのご報告をしていただきます。

まず行政側ということで資料のご報告させていただきます。1ページ目でございますけれども、2の現況経過等というところで、この2行目の最後にあります通り、今回コロナ禍ということでございました。保健所や地域医療機関にご指導、ご助言いただきながら感染症対策を順次行ったところでございます。そして、最後のなお書きのところでございます。やはり選手等また各関係者とも毎日のスクリーニング検査を行いましたけども、感染者はいなかったというところでございます。続きまして、3、事業内容でございますが、(1)受け入れに関しましては、資料にお示しの通りの選手の関係者が、北区を訪れたというものでございます。

おめくりいただきまして、⑦、主な選手の成績というところで、写真とともにですね、メダリスト掲載してございます。ちょっとご案内させていただきますと、左上の写真、こちらシラギ・アーロン選手といいまして、フェンシング個人戦サーブルという種目で金メダルを獲得されたんですけども、今回、オリンピック3連覇というところで、もうフェンシングの世界ではレジェンドというところで、私たちが夏に接していたのが不思議なぐらいの雲の上の存在という方でございます。それから、シクローシ・ゲルゲユ選手ということで写真右上でございます。こちらフェンシングのエペという競技、日本は男子団体のエペが金メダルをとりましたが、その競技でございまして、こちら個人戦で銀メダルを獲得されました。先ほど、フェンシングのオンライン交流会で、子どもたちと一緒に画面に写っていた選手でございます。続きまして左下でございますが、フェンシングの男子サーブル団体、アーロン選手も含めた団体戦、4名の選手で銅メダルを獲得されました。最後、トート・クリスティアン選手ということで、右下でございます。柔道男子90キロ級で、見事銅メダルを獲得しました。日本の金メダルラッシュを止めた選手ということでも、かなりニュースでも出たかなという選手でございます。トート選手につきましてもコロナ前から子どもたちと柔道教室に参加いただくなど、ご協力いただいていたところでございます。

続きまして、その写真の下、(2) 交流でございます。①北区滞在時、選手村入村前でございますが、こちら入村前、いわゆる入国してすぐということでございますので、非対面で交流を実施いたしました。まず千羽鶴と応援メッセージの寄せ書き等の贈呈ということも、区民の皆様方にご協力いただきながら、行ったところでございます。②でございますが区内滞在時でございます。競技終了後かつ入国後 14 日間経過後になりますと、感染症対策を徹底した上での対面での交流が可能という入国ルールになってございましたので、区民との対面での交流が実現したものでございます。おめくりいただきまして、実施内容等はですね、記載の通りでございます。この対面での事後交流でございますけれども、実は都内では、北区の他に世田谷区が、選手 1 名と交流したのみでございますので、本当にハンガリーの皆様方のご理解、また地域の方々のご理解をいただいた上で、実施できたものであるかなと思っております。当日の交流の様子につきましては 4 ページ以降、区内滞在時の写真ということで、競技前また競技後の写真を掲載してございますので、後程ご高覧いただければと思います。本来であれば、この交流会、また報告会、リレーションの皆様方にご案内すべきところではございましたけれども、やはり人数を限定し感染症対策を最優先させていただきましたので、ご案内させていただくことができず、また、今回、事後でのご報告となってしまったことお詫び申し上げます。ご理解いただければと思います。よろしく願いいたします。

最後でございます。3 ページにお戻りください。今後の予定でございます。ハンガリーの選手等がですね、国際大会における、来日の機会をとらえてスポーツを通じた交流により、トップアスリートのまち北区及び区の魅力の発信、これを一層推進していきたいと考えてございます。なかなか現在、水際対策、緩和されたと言いましてもやはり入国が難しいということで、現状選手等が来日する機会、予定は立ってございません。例年ですと、柔道におきましては 11 月また 12 月にかけてグランドスラム東京というもの、日本武道館でやってございました。またフェンシングにおきましては、競技はフルールでございますけれども、1 月 2 月、高円宮杯ワールドカップというものもやっていたり、あとは、実は韓国がとても強くて、韓国で国際大会をやってますので、そういった来日、または東アジアの近隣国に選手が来た際にちょっとお立ち寄りいただいて、子どもたちとのスポーツ交流というものを今後機会があれば、検討していきたいなと考えているところでございます。

行政側からのご報告、以上となりますが、選手側とハンガリー側からの視点でのご報告ということで、今回日本滞在時サポートを北区からお願いいたしました、博報堂プロダクツの明石様から、皆様へご報告をお願いいたします。

—オンラインでハンガリーと中継しながら説明—

【博報堂プロダクツ明石氏】

こんばんは。博報堂の明石でございます。この度は東京オリンピックで、なかなかこの、コロナ禍で厳しい中ですが、私自身としては100%のできたのではないかなと。もちろん、観光とかそういったハンガリー側のストレスはありましたけども、まずは無事故で、それで無事に帰国できて、なおかつメダル等々、成績も伴ったってことが一番成果じゃないかと。もちろん、滞在時にはオリパラ担当課の方々にですね、なかなかこう、いろいろ相談等々やって、なかなか思うようにいかなかったこと、試行錯誤したところ、多々ありました。やはり、なんだかんだ言ってハンガリーの選手ですね、来日しましたら、どこかでは観光とかですね、やっぱり東京へ来たら、どこか行きたいってのは当然あると。我々も海外に行ったらそうだと思うんですね。観光、ましてや東京ということで。今回ですね、このフェンシングの選手の中で、東京へ来たことのある人は誰もいません。チームリーダーのボツコさんという方、下見に来た方と専務理事のタマシュさん、2人だけです。その中でやっぱり皆さん楽しみに来日してきたところで、なかなかこう、思い通りできなかったことはあると思います。もちろん滞在中選手もかなりストレスがたまって、我々もやれることは、今ここ（中継画面）に写ってる、ネメシュ・ローランドさんとやりました。

ネメシュ・ローランドさんのことをちょっと今、簡単に紹介させていただきますと、彼はハンガリー人で、ハンガリーの体育大学を出ました。交換留学で岐阜の方に来て、そのあと、筑波大学へ。今、法政大学の教員をしており、男子ハンドボールの監督をしています。そして今、彼はブダペストの近くに行っていて、オンラインでつながっています。ブダペストから1時間くらい、バラトン湖、有名な湖のあるところで、彼もそこ出身で、そこでハンドボールの日本代表の女子が合宿しています。彼は今回の日本代表の女子の代表コーチに選出されまして、ハンガリーで調整しまして、そのあと12月1日から、スペイン

の世界選手権、という形で。本来はここに来ていただきたかったですけども、彼が代表コーチに選出されましたので、ぜひ頑張ってきて欲しいと。

いろいろ、2人で力を合わせて、結構大変なことは大変でした。ただ、やっぱり今になってみて我々のところに来るのはですね、当時やった時はストレスがたまったと。でも、さっきの話に戻りますが、安全できちんと、無事に、出国・帰国させたことが一番の成果であり、なおかつ成績を伴う。もちろん交流もやれる範囲でやったということで、私も今回のこの経験はですね、いろんな部分で次のスポーツ事業に生きてくると自負しております。

そして、何一つトラブルなくですね、もちろんオリパラ課の方々はですね、朝早くから夜遅くまで、私、非常に負担をかけて、皆さん頑張っていたいたんで。別に私はもちろんビジネスなんでね、お金をいただいていますから、当たり前のことをしてただけであって、やっぱりこれはオリパラ課のね、情熱だと。もっと言えばですね、当初、我々はフランスとかハンガリー等いろんなアスリートにアプローチしてきました。なおかつ、北区だけじゃなくて、大田区とか、板橋区、豊島区といろいろ受け入れ先を検討したことは事実です。でも、その中でやっぱりこの北区のオリパラ課の、東京オリンピックへ向ける姿勢、そして「トップアスリートのまち・北区」というところに、先ほど紹介した柔道のトート会長は感銘を受けて、前橋の方にも合宿に行ってましたが、それを全部キャンセルして、北区一本にしてくれたのは事実で、やっぱりそういったものってのはお金に代えられない。オリパラ課の人たちの、やっぱり受入れる姿勢、そういったのが真摯に伝わったんじゃないかと私は思っています。

そして、この合宿も、ハンガリー側のフェンシングは特にパーフェクトと言っておまして、今までキャンプした中で最高のキャンプ、前はブラジルだったんですけども、当然ブラジルよりよかったです。ですがそれだけじゃなくて、やっぱり皆様から、日本人のおもてなし、それは十分に感じていたと思っています。当然、途中途中でさっきの話のようにいろいろストレスありましたけどもね。それがやっぱり、結果が出ればね、皆さん何とでもいえると思うんですけども。そういったところ、僕は改めて、今回一緒にオリパラの皆さんと仕事ができる本当に、私自身が逆に本当によかったと思う。

これで終わるのではなくてですね、一応2月にですね、先ほど言ったハンガリーの各スポーツ団体協会の議長にあたるトート会長が来日する予定なので。今のところ外務省では確か3日の隔離になってますけど、ワクチンパスポート等がもっと、きちんと普及して、

そういったところが整備されれば、彼は2月ぐらいに来る予定だと。今回のそのレガシーは残していきたいなと思います。

私からは、簡単であります。以上です。あと、ローランド、何か一言。

【ネメシュ・ローランド氏】

すいません皆さん、お世話になっております。初めまして。ネメシュ・ローランドと申します。本当に夏まで、皆さんのおかげで、非常にスムーズに事前キャンプと大会が成功しまして、これはハンガリーの側からしてもとてもよかったですと思います。今後もですね、明石さんもおっしゃっていたように、交流を続けられるとうれしく思います。よろしくお願いたします。以上です。

【明石氏】

大変だったことは何かある？

【ローランド氏】

選手たちのストレスだったりとか、管理が難しく、長く、同じ場所にいるとともに、食事あんまり自由にできないっていうのがあったと思うんですけども。ただ何よりも、問題がそれ以上なかったことが我々としては大事だったんじゃないかと思いました。良かったと思います。ありがとうございます。

【明石氏】

どう、そちら（ハンガリー）は寒い？

【ローランド氏】

そうですね、急に今、秋から冷えてきまして、今朝、散歩しましたところは、零下一度。これからもっと寒くなってくるようです。練習場の体育館の方があったかい。練習として行ってますけれども、気候としてちょっと日本より寒い感じ。まだ雪は降っていないんですけど、雪も降りそうなところ。です。

【明石氏】

あと、冬季オリンピックは、ハンガリーは今回何人くらい出場する？

【ローランド氏】

北京オリンピックですか。あんまりたくさんは出ないんですが、ショートトラックが決まってですね。スケートも出ているんですけども。アイスホッケーは女子が負けました。男子はこれから予選ですから。あとスノーボード。でも多くありません。数十人の話です。はい。

【明石氏】

以上です。すいません。またよろしく願いいたします。

【座長】

それでは、ハンガリーにも聞こえるように皆さん拍手をお願いします。

感動的な報告ありがとうございました。皆さんの方からご質問、ご意見ございますでしょうか。はい。特になければ、次に参りたいと思います。

続いて(3)になりますが、東京2020大会関連事業報告及び今後の展開についてということでこちらを事務局からお願いいたします。

【事務局】

それでは資料3、ご用意ください。東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会関連事業の報告及び今後の展開についてでございます。こちらにつきましては、北区関連事業をご報告させていただくというものでございます。

直接的な大会報告につきましては資料1でご案内させていただいた通りでございます。まずは、1ページ目に現況経過等にあります通り、新型コロナウイルス、やはり感染症の影響が北区の事業にも多くございまして、各事業につきまして、実施形態の変更、また大幅な規模縮小を行いました。一方で、大会後にはなりますけれども、出場された北区ゆかりのアスリート、大会報告等で北区にご来庁いただくとともに一層の連携を現在深めているというところでございます。

3、事業内容でございます。東京 2020 大会前及び期間中でございますが、(1)、まず聖火リレーでございます。こちらオリンピック・パラリンピックともに、公道走行が中止となっており、点火セレモニーのみの実施となりました。特にパラリンピックにつきましては、公道走行中止とはなりましたが、資料 1 の一番下ですね、採火式・聖火ビジットということで、おめくりいただくと、飛鳥山公園、飛鳥山碑という石碑がございますが、その前で、子どもたちによって北区の火を起こしたという、セレモニーを実施させていただきました。こちらコロナ禍ということで非公開という形にはなりましたが、数名の子どもたちが起こした火、こちらを北区の火として、パラリンピックの聖火の一部として、トーチに灯したというものでございます。

なお、聖火リレーボランティア、冒頭も少しお話をさせていただきましたけれども、リレーションシップ協議会の皆様方におかれましては、大会延期前から多数のご協力、いただいたところでございますけれども、残念ながら実施に至らず大変申し訳ありませんでした。ボランティアのご協力、改めて感謝申し上げます。

続きまして、2 ページ目の (3)、東京 2020 大会コミュニティライブサイトでございます。こちら競技中継を中心としたイベントということで、代々木公園の樹木の伐採等々報道にもあった通りですね、やはり大きな、多くの方を集めてのイベントは難しかろうということでございました。北区におきましてもオリンピック期間中は完全に中止をしたところでございます。一方で、パラリンピック期間中のみ規模を大幅に縮小して実施をしました。ただ、従来のみinnで観戦して応援しようというものではなくて、あくまでもパラスポーツの普及啓発を目的として、競技を紹介するというような形。また特別支援学校の児童生徒さんのポスター等、書いていただいてそれを掲出するなど、少し趣向を変えて、本当に規模を縮小して実施させていただいたということでございます。内容等につきましては、資料お示しの通りでございますので、ご高覧いただければと思います。こちらのコミュニティライブサイトでございますが、リレーションシップ協議会におきましては、ハンガリーフェアの後、2020 大会本番時には、コロナがなければ、このコミュニティライブサイトの中で、いろいろな連携を持ちつつ、特に商連さんや商工会議所さんにつきましては、北とぴあ前で出店いただいて、にぎやかに大会を盛り上げていただく予定でございました。直前まで、いろいろ試行錯誤、検討させていただきましたけれどもこちらコロナ禍ということで、実施を見送らせていただきましたので、準備段階でのご協力改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

続きまして、4、事業内容 東京 2020 大会後でございます。(1) 北区ゆかりのアスリートとの連携ということでございますが、5 ページ、最終ページでございますが、ゆかりのアスリートの活躍状況、掲載してございます。ご覧の通りですね、著名な卓球の選手もいらっしゃいますけれども、本当に北区出身の選手、また、ゆかりの区職員いらっしゃいますけれども、多くの選手が活躍をされたと。そして大会後には、区の方に大会報告ということで、お越しいただいたというものでございます。また、ご来場いただくとともにですね、インタビューをさせていただきまして、こちら区のホームページで、掲載してございますので、後程検索していただいで見ていただけるといいかなと思ってございます。

またこの中で、山田選手、太田選手、小川選手、澤田選手につきましては、講師を各イベントに派遣する講師派遣事業、北区スポーツコンダクター制度というものがございまして、こちらに新たにご登録いただいたところでございます。ここでちょっとご案内させていただきます。すいません資料が飛んでしまいますけれども、資料5を。こちらのカラー刷りの黄色い用紙ですね。こちらをご覧ください。こちらにつきましては、北区スポーツコンダクター制度といたしまして、北区ゆかりのアスリート、オリンピック・パラリンピアンの方にご登録いただきまして、上のところ、対象というところで星印ございますけれども、主に区内団体が中心でございますが、小中学校、高校、保育園、町会自治会地域団体、また企業さんも含めて対象に、例えば講演会の講師であったり、ちょっとしたスポーツ教室、運動の実技指導等を、実施いただくというものでございます。北区ゆかりのアスリートということで、区を介してのご紹介とさせていただきますので、報償等の費用につきましては負担いただくんですけれども、区を介してご協力いただいているということでございますので、利用しやすい形態にはなっているというものでございます。こちらはこれまで、主にオリパラ教育を実施されている区立小中学校の事業等でご活用が主だったんでございますけれども、今後につきましては地域の団体の皆様方にも積極的に、ぜひ活用いただいで、ゆかりのアスリートと地域をつなぐような制度にしていきたいなと思ってございますので、まずは今回、ご紹介させていただきました。また今後コロナ後ですね、アフターコロナで、例えば地区委員会であったり町会自治会等々の地域イベントを含めて、何か少し検討される際の材料の一つとして、ご検討いただくとうれしく思っておりますし、またどんなことができるか含めてご相談ということであれば、まずオリパラ担当課、区の方にご相談いただければ、ご協力させていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

それではまた資料にお戻りいただいて、すいません、あと5ページにゆかりのアスリートの活躍状況を掲載してございますが、実は資料にはちょっと記載はございませんが、フェンシングのエペ男子団体、金メダルを獲得された、まだ記憶にあるかと思いますが、実はその中の宇山賢選手、この間引退されました宇山さんでございますが、実は北区ゆかりのアスリートでございます。大会の前は、区と接点がなかなかなかったところで、皆様方にPRというところまで至ってなかったんですけども、先日、区長も初めてお会いすることができたということで接点ができました。今後ですね、またご来庁いただいて、インタビューをさせていただくというですね。現役を退かれてございますけれども、ゆかりのアスリートということで、また金メダリストということで、区のスポーツ振興にご協力いただければと考えてございますので、また宇山さんの情報等も含めて、発信していきたいと思っております。

資料3の2ページ目にお戻りください。4、事業内容の東京2020大会後でございますが、(2)でございます。卓球混合ダブルス金メダル獲得記念混合ダブルス卓球大会というものを、11月6日、先日実施をしたところでございます。3ページ目をご覧ください。こちらは混合ダブルスで、オープン参加の卓球大会ではございましたが、今、ちょうど23日から、卓球の世界選手権がアメリカのヒューストンで行われていて、総監督という立場で一緒に行かれている宮崎義仁様をゲスト、また、伊藤楨紀選手、浅野俊選手というパラリンピックの知的障害のクラスに出場されたお二方、特に伊藤選手につきましては銅メダルを獲得されました。この2人がペアとなって、試合にも参加いただきました。また木原選手や小塩選手といったJOCエリートアカデミー生、木原選手につきましては稲付中学校を卒業してございます。ゆかりのアスリートということで、エリートアカデミー生の方々にも、ご参加いただいたところでございます。特にエリートアカデミー生につきましては、すでにTリーグ、卓球のリーグでございます、こちらでもう活躍をされているということで、今後の更なる活躍が期待されていると。エリートアカデミーですので、日本スポーツ振興センターさんが管理されています、ナショナルトレーニングセンターに併設しているアスリートヴィレッジを拠点に活動されているということで、まさに、北区ゆかりのアスリートかなというところでございます。

続きまして、(3) 聖火リレートーチの巡回展示でございます。こちらですね、実際にリレーで使われたトーチではない、レプリカ、全く同じものがございますが、こちら行政の方が用意させていただきまして、展示をしていくというものでございますが、やはり、ま

ず、聖火リレーの公道走行がかなわなかったというところ、また観覧もかなわなかったということで、まずは区立小中学校また幼稚園・認定子ども園に、巡回をしたいと考えているところです。現在学校と日程調整はしているところで、日程がなかなか取れないのと、各学校を巡回しますので、展示期間は各校1日程度になってしまうかなというところで、希望を学校の方からとって、今後日程を調整させていただくと。できれば多くの学校で、展示できればなと思ってます。そのあとまた体育施設等にも展示をしたいなと思ってございますし、また各団体さんの方におかれましても何かイベント等でぜひ展示ということであれば、ちょっと日程の都合もございますけども、ご相談いただければと思いますので、よろしくお願ひします。なおトーチ、オリンピック・パラリンピック双方のトーチとともにですね、ランナーが着用したユニフォーム、こちらを展示可能となってございますので、よろしくお願ひいたします。

続きまして(4)、東京2020大会を象徴する物品の活用ということでございますが、組織委員会の方から、地域のレガシーとしてぜひ活用して欲しいということで、競技用具、用具としては実際に試合使用されたサッカーボールであったり、パラリンピックの、すいません、バスケットボールと書いてありますけども、競技として車いすバスケットボールで使用されたバスケットボール等が提供されてございますので、今後、区主催のイベント等でもレガシーとして有効活用、展示等をしていきたいなと思ってございます。こちらについても、ぜひ地域団体でのイベントということで、活用したいということであれば個別にご相談いただければと思いますのでよろしくお願ひします。そういった形で地域の方々へレガシーとして、少しでも東京2020大会が開催されたというところをですね、感じていただけるようなものの一環をちょっとご紹介させていただきました。

続いて、(5)、アスリート手形モニュメントへの手形追加設置でございます。ナショナルトレーニングセンター西側、そこに隣接する、区立稲付西山公園というものがございます。ここにアスリートの手形を取って展示しているモニュメントがございます。公園の中でございます。全部で26枚設置可能でございますが、今回、資料3に記載の通り、銅メダルを獲得したハンガリーフェンシングの4選手、それからゆかりのアスリート5選手、こちら計9枚手形をとらせていただきました。こちらを年度内に一括して、手形モニュメントの台座に設置を予定してございます。こちらで一旦まず26選手分ということで、手形モニュメントが完成ということになります。設置の時期等につきましては、また今後調整させていただいて、しっかりと発信していきたいなと考えているところでございます。

最後、4 ページ目、5、今後の予定でございます。今、ご紹介させていただきましたけども、引き続きNTC、JOC、ゆかりのアスリート等と連携しながら、また地域の皆様方と連携しながら、スポーツを軸とした地域活性化、そして魅力発信に取り組むことで、引き続き「トップアスリートのまち・北区」の発信を一層推進して参りたいと思っております。

また最後ですけれども、北区ゆかりのアスリート等と連携した主な事業の今後の予定というところで、直近ですと12月5日スポーツボランティア養成講座の講師を澤田優蘭選手にお願いしてございます。こちらの資料も、今回、机上にチラシということで、障害者週間記念事業ということで澤田選手、こちらにロールアップバナーもございまして、澤田選手にご協力いただくことになってございます。まだ申し込み受け付け中でございますので、皆様方、団体の中でもご周知いただきまして、ぜひご参加いただければと思っております。

ちなみに、澤田優蘭選手でございますけども、ちょっと資料には書いてないんですけども、区立の第四岩淵小学校を卒業されて、順天中学校を卒業されてます。11月16日には出身校の順天中学校でも講演されているようですので、講演についても、非常に魅力的なお話がいっぱいあると思いますので、ぜひよろしくお願ひします。

先ほどハンガリーの方から、北京大会、冬季大会のお話がございました。北区のゆかりのアスリートでもですね、夏季大会ほどではないんですけども数名出場が見込まれるゆかりのアスリートいらっしゃると思いますので、また決定等しましたら、しっかりとPRして、コロナ禍、どのような状況かちょっとわかりませんが、区民の皆様方と応援していけるような、企画等を検討して参りたいと思っております。私の方から資料のご説明は以上です。

【座長】

ありがとうございます。では、(3)の報告事項に関して何かご意見、ございますでしょうか。そこ(会場内)に聖火のトーチが展示されております。よろしいでしょうか。

では、次が大きな4番になりますかね。協議事項になります。(1)番、東京2020大会後の北区リレーションシップ協議会の位置付けについてということで、こちらの事務局の方から、お願ひします。

【事務局】

それでは協議事項でございます。毎回、協議事項というものを先に持ってきてそのあと各事業の報告という形でさせていただいてございましたが、今回協議事項につきましては今後についてということでしたので、前段で事業について、諸々ご報告させていただきました。それに引き続くという形で、今後のリレーションシップ協議会をどのようにしていきましょうかというご相談、協議でございます。

資料4をご覧ください。A4横刷りのものがございます。リレーションシップ協議会の位置付けということで、今後の位置付けということをちょっと図示させていただいたものがございます。このリレーションシップ協議会、冒頭、座長の方からご案内いただいた通り、東京2020大会に向けて、オール北区で機運を醸成していくと。様々なレガシー創出のため取り組んでいくというもので、実施していたものがございます。2020大会終了、そして本日報告させていただいたということで、まずは一旦閉めるという形が本来でございます。

ただ、やはりこういった方々、皆様方、特にリレーションの中におきましては、ハンガリーフェア含めて、実現かなわなかった事業、聖火リレーもそうですけども、そういった中でいろいろ協力体制、特にスポーツ部門においてこのような多様な皆様方が一堂に会して接点を持つというところがなかなかなかった。そういったものが一つのレガシーなのかなということで、ぜひ、今後も引き続きですね、実施をしていきたいなと考えたところでございます。ただ、実施内容はどういったものかということでございますけども、一番わかりやすいのは、右下のリレーションシップ協議会、主な連携でというところでございます。今後につきましては、今、諸々ご紹介させていただきましたゆかりのアスリート、こちらを支援、連携、特にゆかりのアスリートと地域、また区民の皆様方をしっかりと結びつけていくというようなところ。また、冒頭にごあいさついただきましてご紹介させていただきましたけども、日テレ・東京ヴェルディベレーザとの交流に関すること。今後につきましてはアフターフォロー等でございますけども商店街、学校、地域に選手、チームが入っていくという、行政主導というのも一つの方法でございますけども、地域の皆様方と、横の繋がりでも盛り上げていくというのも一つの方策なのかなと。具体的にどういったものをやるかということも含めて、リレーションの中の協議事項等にさせていただきたいなと考えているところでございます。

また三つ目でございますけれどもハンガリー競技団体、来日した折にはですね、また皆様方のご協力いただきながら、交流を深めていきたいと思っております。またそれ以外諸々ですね、スポーツイベント等ある際には、それをスポーツの軸とした地域の活性化につなげていきたいと考えておりますので、こういった内容、東京 2020 大会後の取り組みとしてリレーションの連携例としてちょっと挙げさせていただきました。内容としてはそういったこと、地域をスポーツで盛り上げていくと、横の繋がりというところをしっかりと継続していきたいなというご提案でございます。

一方で、どんな感じで運営していくのかというところでございますけれども、ちょっと資料にはないんですけども、いつまでやるのかというところが一つポイントかと思っております。こちら、ハンガリーの例えばシクロ選手、フェンシングで銀メダルを獲得された選手であったり、柔道で銅メダルを獲得されたトート選手、またパリに向けて、パリでは金メダルを目指すということで、お話をいただいておりますし、特にこの両選手につきましては区民との直接の交流実績もございますので、しっかりとパリまでは区としても、子どもたちとともに交流を深めていきたいと考えております。

また北区ゆかりの日本人のアスリートにつきましては、特に卓球の選手につきましても、世界選手権またパリに向けて動き出してございますし、また現役の澤田選手であったり、車いすラグビーの小川選手につきましても、パリを目指す、次こそは金メダルをと言っておりますので、やはりゆかりのアスリート、しっかりと応援していくと。また地域と盛り上げていくというところで、一つの目安として、やはりパリ五輪、パラリンピック、2024 年度を、まず一つの区切りとして、期間として 2024 年度まで。

それからこういった形で、会議形式でお集まりいただくのは、原則として年 1 回ぐらいでよろしいのかなと。ただ実際に何か少し盛り上げていく企画等あれば個別にご相談いただいたり、都度都度ですね、ちょっとお集まりいただくというような形も取らせていただくというところで実施、まずちょっと手探りでございますけれども実施できないかなと考えているところでございます。

ざっくり、まだ事務局の案ではございますけれども、来年度以降、また新たにですね、トップアスリートのまち北区を推進するための協議会として活動できればなと思っておりますので、よろしくご審議いただければと思います。よろしくお願いたします。

【座長】

説明ありがとうございます。ただいま協議会の位置付けに関して話がありましたが、これに関しては、各委員の皆様も思うところもあろうかと思しますので、ぜひご意見等いただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

私個人的には、年に1回って話がありましたんで、年1回ぐらいは名刺交換含めてですね、委員の方も代わるっていうのもありますし、いろんな関係で会った方が繋がっていくってことも必要だと思いますので、意味があるのかなというふうに考えております。あとはいろんなイベントに関しては皆さん全員でっていうことではなくてですね、その都度関わる関係の中で協議しながら進めていくという、そういう形になろうかと思います。

いかがでしょうか。基本的にはこの事務局案の方向で進めていくということによろしいでしょうか。はい。ありがとうございます。

では、次、5番目です。各団体機関からの報告ということで、こちらの方各関係の皆様から何かございますでしょうか。はい、どうぞ。

【根本委員】

北区体育協会でございます。先ほどオリンピック・パラリンピックの選手、紹介されましたけど、私ども体育協会といたしまして、10月10日に区民体育大会、表彰式をですね、規模を縮小して一応させていただきまして、その際にですね、東京大会で入賞、8位以内の方にですね、スポーツ賞の制度というものがあって、この特別賞ということで、4人の方を表彰させていただきました。あと先ほど追加ってということで、フェンシングの宇山選手もですね、後程特別賞を差し上げたいと思っております。

それとですね。12月の暮れなんですけど、今後、子どもたちを対象にですね、先ほど話のあった山田選手を講師に、テコンドー体験会を実施させていただこうと。12月27日なんですけど、子どもたちを対象にですね、公募で募集して、そういう体験を通して競技の理解をしていただければなど。子どもたちがですね、また育って、競技を自分でやりたいということになるかもしれませんので。このようなことを考えております。

それからまた、今後理事会等で決めていくんですけど、新年懇談会ですね、従前は新年会ですか、それを模様替えしまして、新年懇談会の席ですね、先ほどの東京ヴェルディさんですか、関係者の特別講演をお願いするとか、あとは、動画配信で代表選手の方の

活動のこととか、或いは山田選手、動画でコメントをいただきたいなど、今のところ計画しております。以上です。よろしくお願いします。

【座長】

ありがとうございます。コロナ禍で大変だと思いますがぜひ。その他ございますでしょうか。はい。お願いします。

【越野委員】

先ほど決定をいただいた協議会の継続的な協力ということ、大賛成です。その中で、年に1回このように集まるという形でいいと思うんですが、ぜひ、前から申し上げてるように、この際ですから、SNSなんかを活用してですね、相互の事業をここで何か共有できるようなハブに、ぜひ協議会、重要かなと思ひまして。その方法としては、SNSを活用するとか、クローズドのこの協議会のメンバーだけのフェイスブック、ラインを作るとか、いろいろやり方は多分、若い方が特にお知恵があると思いますので。そういう形で、まずは情報の共有をしていくっていうことが大事なんじゃないかと思います。

それとですね、これちょっと全然どうなるのかな。情報もないんですけど。記録映画が、多分、来年の夏ぐらい、オリンピック記録映画がですね、河瀬直美さんの、できるんですよ。カンヌに間に合わせるとか。一般公開は夏ぐらいですかね。僕は、前の東京オリンピック、実は幼稚園の年長さんぐらいのところですね、覚えてるんですけど、やっぱり記録映画を、みんな何度か見たっていうのがですね、非常に刷り込まれたところがあって、この記録映画っていうのは、このレガシーを、残していくポイントになるんじゃないかなと思って。おそらく、これからお話がいろいろ出てくるんでしょう。昭和40年代当時のような話ではないのかもしれませんが、いずれにしてもそれをもっと今風に、何か皆さんに見ていただくことがあってもいいのではないかと。文化振興財団等から、そういうことがあっていいのかもしれませんが。なんか、北とぴあでの上映とかですね。そういうことも含めて、もう視野には入れておいたほうがいいなあということがありました。

【座長】

ご提案ありがとうございます。SNSはやはり、特に若い子は、見ますね。特に私のゼミも、去年はコロナ禍でインスタグラムなんかをやったんですけれども、こんなに見てくれるかなと、私の年代だからか思うんですけど。結果的にもう数千とかっていう結果にいきますんで。なかなかそういう情報が必要なのかなと、私の方も感じております。ぜひ、ご検討ください

そのほかございますか。

ではないようでしたら私の方から。東洋大学のライフデザイン学部が、今年、朝霞の方から赤羽台に、引っ越して参りました。まだ学生がフルで登校しておりませんので、にぎわうということはありませんけど、実はライフデザイン学部健康スポーツ学科という学科がございまして、こちらの方が2023年に学部昇格してですね。定員数をふやしてですね。4学年で200程度、1300名くらいの学部がそこにもう一つでき上がります。赤羽のあの辺歩かれる方は気づいているかと思えますけれども、今現在、新しい健康スポーツ科学部のための校舎、特にアリーナですね。体育館を建設中です。もう設計決まっております、3000人近くの観客が入るような、そういうアリーナがその、赤羽駅から歩いて5分のところに、でき上がるということになります。今、早速プロのリーグの方々、具体的に申し上げますと、卓球のTリーグであるとか、女子のバスケットの方々ですね、興味を持っていただいて、ぜひあそこで興行させてください、という話もいただいております、おそらくでき上がりますと、あそこでいろんなプロの試合が見られるという環境ができるかなと思います。そういった意味で地域の方々にご迷惑かけることもあると思いますけれども、一方でいわゆる地域振興ですね。プロの試合を見に来ていただいてですね、その帰りにですね、赤羽の駅のあたりで一杯飲もうか、ということにもなるでしょうし、そういう意味では商工会の方々とか飲食店の方々に、プラスになるかなと考えてございます。

この協議会もそういったことを協議できるような会議にですね、両方ともWIN-WINになれるような、そういったご議論ができるような、会議にさせていただければなというふうに大学側としては考えております。

加えて、立地として、通常の体育大学っていうのはどっちかっていうと田舎の方に、郊外の方にグラウンドを持ってですね、作るケースもあるんですが、東洋の場合は駅、本当に都内の1等地に建てて、逆に都市型のスポーツ系大学ということで、いわゆるアーバン

スポーツに力を入れてやって参ります。具体的に申し上げますと、BMXであるとか、あとはスケートボードだとか、スラックラインだとか、昔にはないような、そういうスポーツを教育の活動の中に取り入れて参ります。加えてボルダリング。これは大学の中でトップ施設を作ります。そういったことを志向する学生も入って参りますので、従来のスポーツだけではなくて、そういった新しいアーバンスポーツという点でもですね、お役に立てるかなというふうに考えてございますので、またいろいろお時間をいただければというふうに考えております。よろしくお願いいたします。

ではその他なければ、次の6番目の今後のスケジュールというところに移っていただきたいと思いますが、事務局の方でよろしくお願いいたします。

【事務局】

先ほど、協議事項で、来年度以降新たな位置付けという構造でご承認いただいたと認めてございますので、今後のスケジュールでございますけども。こういった形でお集まりいただく会議でございますが、一応今のところ、事務局イメージでございますけども、まず新たなスタートということでございますので、連休明け、5月また6月頭ぐらいでまず一旦お集まりいただいて、会としての今後の方向性をしっかりと決めていきたいと。また各団体の来年度のスケジュール等も、共有させていただければと思っております。

またあわせて、今後、多分年明けぐらいから来年度、各団体さん、また地域の団体さんも含めて、来年度のスケジュール等を考えていくところかと思っております。そういった中で今回、スポーツコンダクター制度をご案内させていただきました。また冒頭、日テレ・東京ヴェルディベレーザの方からも、地域の中でぜひというお話もございますので、スケジュール等組んでいく中で、個別に少しご相談いただいて、地域にアスリートをつなげていくというようなところも、各団体様で少しご検討いただけると、非常に助かるかなと。区としましても、最大限、ご協力させていただければと思っておりますので、ひとつよろしくお願いいたします。

また5月ごろになると思っておりますけども、しっかりと、今回の新たな協議会の位置付けというものをしっかりとご案内させていただきつつですね、皆さんお集まりいただければと思っておりますので、ぜひよろしくお願いいたします。先ほど越野委員からご提案いただきましたSNS等含めまして、当然、その時だけ情報共有というわけではなくて、ぜひ、例えばゆかりのアスリートの講演情報であったり、活躍情報はですね、区の公式ホー

ムページ等もそうでございますけども、委員の皆様方への個別のメールの方にもご提供させていただきますので、もしこういった情報を、例えば各団体さんでも共有いただきたいというものがあれば、事務局の方にご連絡いただければ、拡散させていただければと思いますので、双方でしっかりと情報が共有できるような、運営もしていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

【座長】

ありがとうございます。スケジュール感に関していかがでしょうか。よろしいですか。

では、その他何か事務局の方からありますか。特にありませんか。あと、この際ですから皆様の方から何かありますか。いかがでしょうか、よろしいですか。

特になければ、それでは、これにて第11回北区リレーションシップ協議会、終了したいと思います。ご協力ありがとうございました。